

子供が主体的に学習を進めるために

ガイド学習を取り入れた 間接指導の工夫

第2・3学年 国語科の実践より

ガイド学習とは…

間接指導の効率を高めるために考えられた小集団学習の一形態で、ガイド役の子供が、教師の指導のもとに立てた学習進行計画によってリードしながら、共同で学習する学習方法です。



ガイド学習を取り入れることで
協力し合いながら子供たちが学習を進めます！

→「複式学級指導用語集」→「ガイド学習」より

主体性UP!

効率UP!

コミュニケーション力UP!

【実践例】ガイド学習の進め方(第2・3学年国語科)

学習環境

それぞれの学年が落ち着いて学習できるように、L字型で学習を進めます。

ガイド役の子供が活用できるように、実物投影機等も用意します。





手引き

どの子供でも、自信をもってガイド役ができるように、ガイド学習の手引きを用意します。

学習内容に応じて、手引きの内容を変えると効果的です。
ただし、子供が慣れるまでは、同じようなパターンで行うとよいでしょう。

<ガイド学習の手引き例>

ガイド学習の手引き

- ① 〇分で小テストをしましょう。
早く終わった人は、〇〇をしましょう。
丸つけをしましょう。
- ② ノートに今日のかだいを書きましょう。
今日のかだいを読みましょう。
- ③ 音読をしましょう。
今日は、〇〇読みをします。
(一人読み、リレー読み、いっせい読みなど)
- ④ ワークシート(ノート)に自分の考えを書きましょう。
時間は、〇分です。
時間になりました。自分の考えは書けましたか。
*みんなのようすを見て、時間をのばすか先生とそうだんする。
- ⑤ ペア(グループ)で話し合い(意見交かん)をしましょう。
時間は、〇分です。
話し終わったペア(グループ)は、発表のじゅんびをしましょう。
- ⑥ ペア(グループ)で話し合ったことを発表しましょう。
つけたしやべつ考えはありませんか。
質問はありませんか。
- ⑦ 今日のまとめをします。
先生、おねがいします。
- ⑧ ふりかえりを〇分で書いて、発表しましょう。

① 課題をつかむ

学習の流れ			
	すること	時間 (分)	人数
1	小テスト	7	1
2	かだいのかくにん		
3	音読		
4	ワークシートの説明		
5	ワークシート	7	1
6	話合い・交流	5	2
7	発表		
8	まとめ		
9	音読練習		2
10	ふりかえり	3	

<ガイド学習の手引き例>

※ ガイド役の子供の進行

1
課題
をつ
か
む

- ① 0分で小テストをしましょう。
早く終わった人は、〇〇をしましょう。
丸つけをしましょう。
- ② ノートに今日の課題を書きましょう。
今日の課題を読みましょう。
- ③ 音読をしましょう。
今日は、〇〇読みをします。
(一人読み、リレー読み、一斉読みなど)

学習の習熟を図るために、漢字や語彙、計算等の復習をガイド役の子供によって進めます。



ガイド役が実物投影機を使って答え合わせをしています。
※ タブレット等を使用して、情報を共有することも考えられます。

どんな読み方をするか、ガイド役の子供が選んで伝えます。(教師が意図的にガイド役に指示を出すこともあります。)



② 自力解決

学習の流れ			
	すること	時間 (分)	人数
1	小テスト	7	1人
2	かだいのかくにん		
3	音読		
4	ワークシートの説明		
5	ワークシート	7	1人
6	話し合い・交流	5	2人
7	発表		
8	まとめ		
9	音読練習		2人
10	ふりかえり	3	

<ガイド学習の手引き例>

- 2 自力解決
- ① ワークシート（ノート）に自分の考えを書きましょう。
時間は、0分です。
時間になりました。自分の考えは書けましたか。
*状況によって、時間を延長する。

時間の見通しをもって取り組めるようにします。



ガイド役がタイマーを持って進行します。

全員ができたかを確認した後、まだ時間が必要だと感じたら教師に相談します。

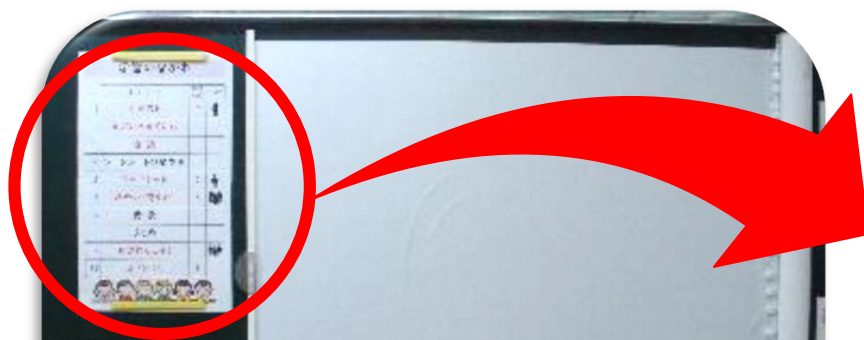


教師の指示が多いと、ガイド役の子供も学習を進める子供も、戸惑います。
そこで、掲示やワークシート等を工夫して、自力解決に向かう際の手立てとします！

見れば分かる！
自分たちで進められる！

② 自力解決

掲示の工夫①



☆ ガイド役の子供だけでなく、学習者全員が見通しをもって活動できるように、「学習の流れ」を黒板に掲示します。

赤字がガイド役の子供が進行するところです。

自力解決をいつ、どのように（全体、グループ、個人等）行うのかを、視覚的に示しています。

目安とする時間です。

学習の流れ			
	すること	時間 (分)	人数
1	小テスト	7	1人
2	かだいのかくにん		
3	音読		
4	ワークシートの説明		
5	ワークシート	7	1人
6	話合い・交流	5	3人
7	発表		
8	まとめ		
9	音読練習		3人
10	ふりかえり	3	

② 自力解決

掲示の工夫②

☆ 既習の内容を確認できるように、前時までの成果（ワークシートや短冊・画用紙・模造紙などに書いたもの）や学習の要点等を掲示し、既習内容を想起しやすい環境をつくれます。



黒板など目につきやすい場所や子供が見に行きやすい場所に、「学習のあしあとコーナー」等を設けています。
いつも決まった場所に情報を示すことで、授業中困ったときには子供たちが見て学習のヒントにします。



② 自力解決

手で書く活動と、タブレット等ICTを活用する活動のバランスを考えましょう。

ワークシートの工夫

題材やその時間の学習課題に対応した「書く活動」の充実へ

☆ 学習課題に沿った自力解決の時間となるように、目的や活動を分かりやすく示すことが大切です。

例えば・・・

ガイド役は「**自分の考え**を書きましょう」と短い言葉で説明

① ワークシート（ノート）に自分の考えを書きましょう。
時間は、0分です。
時間になりました。自分の考えは書けましたか。
*状況によって、時間を延長する。

何について自分の考えを書くのか、どんなことに着目して書くのかを明示します。



ワークシートには、「○○について、□□に伝えるように自分の考えを書こう」など、具体的に説明

<ワークシート例>

今日のふりかえりのポイントは です。	ふりかえり	さん	さん	さん	さん
	○	○	○	○	△
	○	○	○	○	△
	○	○	○	○	△
☆ 話合いや交流のときの視点を示すことも考えられます。					名前
					友だちと自分の考えでちがうところ（△）、同じところ（○）を見つけよう。
1	友だちの考えをしっかりと聞こう。	2	自分の考えと友だちの考えのちがうところ、同じところを見つけよう。	3	ちがう考えには△同じ考えには○をつけながら、友だちと交流したことをまとめよう。

☆ 子供の実態に応じ、学習の流れやヒントを示すなどの工夫も考えられます。

③ 深める

学習の流れ			
	すること	時間 (分)	人数
1	小テスト	7	1人
2	かだいのかくにん		
3	音読		
4	ワークシートの説明		
5	ワークシート	7	1人
6	話し合い・交流	5	2人
7	発表		
8	まとめ		
9	音読練習		2人
10	ふりかえり	3	

<ガイド学習の手引き例>

① ペア（グループ）で話し合い（意見交換）をしましょう。
 時間は、0分です。
 話し終わったペア（グループ）は、発表の準備をしましょう。

② ペア（グループ）で話し合ったことを発表しましょう。
 付けたしや別の考えはありませんか。
 質問はありませんか。

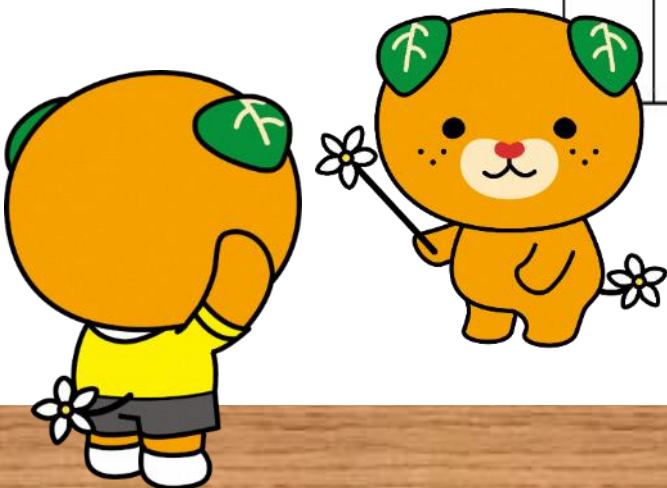
話し合いは、机を合わせてする場合と人のみが集まって行う場合があります。（時間や内容によって変えます。）



課題に沿ってグループで話し合います。意見交換をする際には、その根拠も発言する習慣づくりをしましょう。

話し合ったことは、グループ（ペア）用のワークシートに記入し、タブレット等を使用して視覚的に共有しながら、話し合いの過程や結果を発表します。

☆ 話し合いのヒントとして、教室前面には、「話し方名人・聞き方名人」「話し方の例」などを掲示することも考えられます。



④ まとめる

学習の流れ			
	すること	時間 (分)	人数
1	小テスト	7	1人
2	かだいのかくにん		
3	音読		
4	ワークシートの説明		
5	ワークシート	7	1人
6	話し合い・交流	5	2人
7	発表		
8	まとめ		
9	音読練習		2人
10	ふりかえり	3	

<ガイド学習の手引き例>

4	① 今日のまとめをします。
ま	先生、お願いします。
と	
め	
る	② ふりかえりを〇分で書いて、発表しましょう。

教師がグループの発表を聞いたり、グループ（ペア）用のワークシートを見たりして本時のまとめをします。

発達の段階や実態に応じて、子供たちだけである程度まとめられるように、経験を積み重ねることが大切です。

振り返りを書くときのポイントも伝えます。

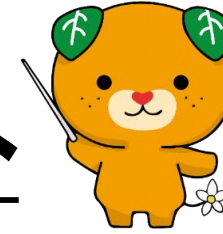
- ☆ 本時の課題
- ☆ キーワード
- ☆ 次時の内容を踏まえた学習の見通しや意欲

時間がある場合は、一人一人振り返りを発表し、本時の課題に沿ったよいところ、こうしたらもっとよくなる場所などについて、再度意見交換を行います。

時間がないときも、教師が一人一人に朱書きなどをして子供にフィードバックすることが大切です。



ガイド学習を取り入れるときのポイント



- どの子供も安心してガイド役に取り組めるよう、教師との打合せの時間を大切にする。
- 教師がガイド役のよいところを積極的に認め、取り上げる。
- 教師の伝達や、ガイド学習の手引き等に示す指示の言葉が多くなりすぎないように、掲示やワークシート等を効果的に活用する。
- 学習段階（課題をつかむ・自力解決・深める・まとめる）に応じて、間接指導の前後の直接指導で次の活動につながる援助を心掛ける。

ガイド学習を継続していくことで、子供たち自身で学習を深めていく力を育むことができます。